

## インターバンクの声（2015年8月19日）

今週、東京市場のドル円のスタートは、月曜日から3日連続して124円40銭レベルだ。ロンドン、ニューヨーク市場で上下にどれだけ乱高下していたとしても、東京が過去2日間とほぼ同じレベルで始まると、どうしても感覚的には動きがない相場とってしまう。もっとも今週については、海外市場を含めても上下40銭値幅の相場で、中国人民元の切り下げで揺れた先週の相場とは対照的だ。米連邦準備理事会（FRB）の9月利上げ観測もあり、今年は欧米勢の休暇からの職場復帰が早まるのではと思っていたが、どうも休暇から戻っているのは一部のような。ただ、ここで油断してしまうと、明日の東京時間未明の午前3時には、前回7月28、29日に開催された米連邦公開市場委員会（FOMC）の議事要旨の公表もあり、明日の早朝はいきなり今日までとは全く違うレベルからのスタートになる可能性もあるので気は抜けない。残念ながら今日のアジア時間には、中国、豪州、本邦からも目立った経済指標の発表予定もなく、特に午前11時から午後3時半くらいまでは高校野球の準決勝が行われるので、相場もほとんど動かなくなるかも知れない。

---

提供：SBIリクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。